

議会報告・意見交換会報告書

NO.1

(1班)

開催日時	平成30年 5月14日(月) 午後 7:30～ 午後 9:10		
開催場所	五和公民館		
出席議員	議員名①	(班長) 日隈 知重	
	議員名②	居川 太城	
	議員名③	渡辺 孝裕	
	議員名④	高倉 和一郎	
		氏 名	
	司 会	居川議員	
	開会挨拶	森山自治会長	
	閉会挨拶	日隈議員	
	記 録	日隈議員	
参加人数	24名(内訳:男性20名、女性4名) / アンケート回収18名		
主 意 見 ・ 要 望 ・ 回 答	<p><u>意見交換</u> (A氏) 5日のこどもの日、西日本新聞の社説に「子供の日、社会の宝を育むために」タイトルで記事が載っていた。子どもの貧困率は、4分の1以下の収入しか得られない家庭で暮らす子どもたちが18歳未満で7人に1人。日田市の子どもの貧困の状況は、どうなのか。厳しい家庭状況の中で過ごしている子どもたちの割合はどれくらいなのか。</p> <p>(議員) 子どもの貧困については、何人かの議員が一般質問した。先生が子どもを見ているから、事例がいくつかある。日田市で子どもの貧困率を調べたものはない。子どもの貧困がわかるアンケートの仕方がある。勉強机が家庭にあるかどうか、夕食はちゃんと食べているかどうか、アンケートのやり方を工夫してやっている自治体がある。日田市の子どもの貧困に踏み込んで調査することを、教育委員会とも話しながら取り組んでいきたい。</p> <p>(A氏) 私は中学校の教員をしていた。当時、某学校で7クラスあった。全部で7人から8人、毎回、弁当を忘れる子どもたちがいた。その中には、お母さんが作ってくれなかったのではないかという子どももいた。</p>		

議会報告・意見交換会報告書 NO.2

(1班)

開催日時	平成30年 5月14日(月) 午後 7:30～ 午後 9:10
開催場所	五和公民館
<p>主 意 見</p> <p>・</p> <p>要 望</p> <p>・</p> <p>回 答</p>	<p>(B氏)</p> <p>中学校の先生から話しを聞いた。その先生は週に2回、カレーライスを子どもに作って食べさせている。日ごろのことを見てて、食べさせてもらってないということ把握している。親が子どもの世話をしない現実がある。</p> <p>(C氏)</p> <p>清掃センターの建て替えについて、4月28日に市長が記者発表した。新聞発表を見てびっくりした。地元の人は、何も聞かされていない。近衛地区は、ほぼ500メートル以内に住民が住んでいる。28年前、まわりには果樹園もあり、田んぼもあり、いろんな影響もあるだろうと反対した。平成8年にダイオキシン問題が発生した。近衛神社では、まだ数字が高い。5月10日、第1回説明会があった。どういう評価点をつけたのか、市役所が出してきた。土地利用面など、現在ある方が有利になる。周辺環境で、一定距離内に民家がないか。前は500㍍で、今回は300㍍にして、民家はないとしている。住民は28年間我慢して、移転をお願いしている。夜間焼却する騒音、洗濯ものが汚れたと言う人もいる。</p> <p>(議員)</p> <p>日田市は4月18日に五和振興協議会と対象自治会に、緑町が第一候補になったことを報告している。10日の記者発表でみなさんが初めて知った。確かにそういうやり方は、ちょっとまずかったのではないかと思う。地域住民としては反対だということを、準備室に伝える。</p> <p>(D氏)</p> <p>30年前、私たちは反対した。反対の看板を立てた。今回2回目の看板を立てている。みんな生活するのに、ゴミを出すのは当然である。必要性もわかる。6カ所のうち緑町以外のところは、反対ではないはず。絶対に変えてほしい。</p> <p>(B氏)</p> <p>素人が考えても、ここが第一候補になるのはわかっている。そういう点数のつけ方とか、選定の仕方とかあるのであれば、まず何をしなければならないか。地元の意向をくんだ施設になるかどうか。なんで議会が問題にしないのか。</p> <p>(議員)</p> <p>地元からは毎年、「別の場所にしてほしいという話しが出ている」ということを議会の中でも執行部に伝えてきた。「地元の理解のないまま候補地に上がるといことは考えられない」という一般質問もあった。私たち議会も、聞きっぱなしにしていたわけではない。これからどうするのか、執行部と大いに議論したい。</p>

議会報告・意見交換会報告書 NO.3

(1班)

開催日時	平成30年 5月14日(月) 午後 7:30～ 午後 9:10
開催場所	五和公民館
<p>主 意 見</p> <p>・</p> <p>要 望</p> <p>・</p> <p>回 答</p>	<p>(C氏)</p> <p>500 ㎡以内に3軒も日田梨をつくっている。各市場に市民生協、エフコープは、残農薬など異物を調べる機械がある。抜き打ちで引っかけたら出荷停止。今3軒の梨農家はビクビクしている。後継者をつくれないう話もある。</p> <p>(E氏)</p> <p>緑町と内河町の合同で説明会をしてほしい。</p> <p>(E氏)</p> <p>福祉避難所の開設運営要領という非公開の資料がある(平成28年に作った書類)。激甚災害が2回起きている。この時、福祉避難所の開設はできていない。平常時における取り組みとして、災害時を想定した訓練の実施とある。訓練したかと聞いたが、一度もしたことがない。災害の時に福祉避難所を立ち上げるというのは難しいのではないかと。五和地区に「はぎの園」がある。水深5 ㎡地区になっている。有事の際は避難しなければならない。中には、知的障害者がいる。熊本地震の時もそうだったが、一般被災者と一緒に避難することができなくて車の中で過ごしていた。石井小学校で受け入れが難しい方もいる。もう少し福祉避難所を開設しやすい手順書を作ったらどうか。</p> <p>(議員)</p> <p>福祉避難所に関して以前一般質問し、問題点を指摘した。多分、改善されていくかと思う。</p> <p>(E氏)</p> <p>学校の施設改修ではシャワーをつけない。新築はシャワーをつけると教育施設課から言われた。その根拠がわからない。</p> <p>(議員)</p> <p>要望として受け取る。</p> <p>(F氏)</p> <p>昨年の災害があったとき、被災者の味噌汁作りをした。前の文化センターは、50人ぐらい入って調理ができた。それがなくなった。ウェルピアの下に作ってもらったが、24人しか入らない。840人分の味噌汁を作ったが、IHなので卓上コンロを5つぐらい持ち込んで作った。日田市は、災害になったとき、どう考えているのか。</p> <p>(議員)</p> <p>国はガイドラインを作っている。避難所で長期避難する場合、温かいものが必要になる。長期にわたる避難の時は、どう対応するのか。昨年、議員が避難所を見て回って、避難所の環境が非常に悪い。国のガイドラインに対応するも</p>

議会報告・意見交換会報告書 NO.4

(1班)

開催日時	平成30年 5月14日(月) 午後 7:30～ 午後 9:10
開催場所	五和公民館
<p>主 意</p> <p>望</p> <p>回 答</p>	<p>のを作っていないということが問題になった。福祉保健部長は、「早急につくる」と議会で約束した。</p> <p>(G氏)</p> <p>日田市に子ども食堂がある。どの程度の利用があるのか。市からの補助金がいくらか出ているか。</p> <p>(議員)</p> <p>最初は話題にもなって、たくさん来ていたようだ。その後、保護者がまわりの目を気にして、子どもを行かせたがらない。無料でやるのではなく、あえて300円を取る。貧困というよりは孤食、子どもが1人で寂しい食事をするよりはということに重きを置いてやっている。当初から補助金ではない。趣旨に賛同する人から米などの支援を受けながらやっている。</p> <p>(F氏)</p> <p>食推協でも子ども食堂をしたらどうかという話が出た。どのぐらいの方が困っているのか。</p> <p>(議員)</p> <p>子どもが1人で夕食をする。おいしい食事をしていない。子どもの生活の豊かさになる部分。滋賀県野洲市の場合は、「誰でも来ていいよ」みんなでワイワイ楽しく食事をする。勉強も教える。これはNPOがやっている。野洲市の担当者も応援をする。</p> <p>(H氏)</p> <p>①議会の改革は、どういった取り組みをしているか。②議員年金が復活しそうだという話しが新聞に載っていた。その後の経過が分からない。③若い世代が議会に入ってこないということが新聞報道される。議会の夜間開催を試みる考えはないか。④公民館が地域拠点の核になるということ、一般質問を取り上げている。日田市の場合、各地域に振興協議会というのがあって、あらゆる団体を網羅して地域づくりをしている。振興協議会の組織そのものを変更してなくてはいけなくなるのか。⑤放課後児童クラブは、大規模クラブと小規模クラブによって国からの補助金が大きく変わる。小規模クラブは運営ができない。大分県下を巻き込んで、県議会まで動かして何とか改善してほしい。⑥空き家対策で21件が非常に厳しい。別府や大分では、行政による代執行が行われている。早く代執行できるようにしてほしい。台風が来ればどうなのか、地震が来れば倒れてしまうのではではないか。隣接者は大変な問題を抱えている。</p> <p>(I氏)</p> <p>郵便局の手前にツタが覆いかぶさった家がある。火事でも起きたら大変なこ</p>

議会報告・意見交換会報告書

NO.5

(1班)

開催日時	平成30年 5月14日(月) 午後 7:30～ 午後 9:10
開催場所	五和公民館
<p>主 意</p> <p>見</p> <p>・</p> <p>要 望</p> <p>・</p> <p>回 答</p>	<p>とになる。どうしたらいいか。</p> <p>(議員)</p> <p>①議員は21人、十人十色と言われるように意見は違う。違いがあるだけでは前に進まない。21人の議員がこれは議会として市に申し入れるべきだということを、市民のみなさんの意見を聞きながら作っていかうとしている。政策研究会で、例えば子育て支援で要望していく。まち・ひと・しごと総合戦略で、党派を超えて要望していく取り組みをやり始めた。昨年からは議員ひとり一人がテーマをもって議論する。昨年は災害対策について3人の議員が提案し、他の議員が意見を述べ議論する。政策を出せる議会を作っていく。委員会の視察報告は、参加した議員がどこを日田市に活かすか、報告書に入れることに変えた。</p> <p>②議員年金について賛否両論があった。議員のなり手不足などから必要ではないか。税金を使うのはおかしいという国民の批判があったから、議員年金が廃止された。市民がどう思っているか聞かないで、日田市議会として意見書上げるのは問題。議論の末、日田市議会としては議員年金の復活させる意見書をあげた。今日の意見交換会でも出たので、再度、議会の中で議論をする。</p> <p>④長野県飯田市は、各地区で住民自治組織ができ上がっている。10万人ぐらい人口で、20の公民館がある。指定管理ではなく直営。公民館が、体協であり、消防団であり、民生委員会であり、社協であり、横をつないでいる。少子高齢化を迎える中で、自治というのがどこも難しくなってくる。公民館中心でやっていたら、どこかの自治会ができなくなってもそこが肩代わりできるのではないか。今の公民館のやり方で悪いというのではなくて、今後の未来を見すえたまちづくりをやる。</p> <p>⑤放課後児童クラブによって、保護者が支払う金額に差がある。子ども1人3,000円から5,000円を超える金額。市内どこに住んでいても、少なくともある一定幅の金額で通えるようにすべきだという議論が委員会であった。これについては、市から補助をする。今後、県の補助金もつけよう要望していきたい。</p> <p>⑥近隣に住んでいる人からの苦情と言う形で日田市に上げてもらう。そこで現地調査に入る。倒壊の危険があるのかないのか、判定をする。さらに解体除却しなければ、近隣の方に危険がおよぶ可能性があるものが特定空き家になる。まず、家主に勧告を行う。家主の責任で解体していただく。経済的に不可能な場合は補助金。それでもできない場合は、行政代執行になる。</p>